

団結力実を結び初の全道V ～南幌中学校女子柔道部～



(写真左から)久保実愛さん(1年)、大館香珀さん(2年)、小野島あさひさん(1年)、瀬川夏生さん(2年)

横井七之助杯北海道中学校柔道新人団体優勝大会が、北海道立総合体育センターで開催され、女子団体で南幌中学校が見事初優勝を果たしました。25回目を迎えた同大会で過去に南幌中学校は、男女合わせて3位入賞5回の実績がありますが、優勝するのは初めてのことで、同チームは昨年7月に行われた北海道中学校柔道大会でも同じメンバーでベスト4入りし、今大会にも期待がかかっていた。選手は皆、「来年(2019年)は、全国大会に出場するチャンスが2回あるので、そこに向けて頑張りたい」と抱負を話しました。



まちかど フォトアルバム

NANPORO Machikado Photo Album

地域貢献活動 ～(株)山田組、(株)富樫組～

南幌町内でのボランティアを目的として、「(株)山田組」より給食センター敷地内ヒバ剪定、「(株)富樫組」よりあいくる駐車場等舗装補修の申し出をそれぞれいただき、町の施設の環境整備と維持向上へ多大な地域貢献活動が行われました。



(株)山田組



(株)富樫組

介護のイメージを転換！研究発表で奨励賞 ～南幌みどり苑～

特別養護老人ホーム南幌みどり苑が、札幌で開かれた全国老人福祉施設研究会(全国老人福祉施設協議会主催)で研究発表し、2位に当たる奨励賞を受賞しました。当日発表を任されたのは、主任生活相談員の山崎博司さん。4月に町内で330人を集めた『ケアニン』上映会で介護の魅力ややりがいを伝え、「介護へのイメージが変わった」などの来場者からの声を紹介、「きつい、危険、汚い」の3K職場という介護に対するイメージを「感謝、感動、カッコイイ」の「新3K」に転換するためには、現場から発信していくことが大事だと主張しました。



平成30年11月14日・21日・28日

南幌工業団地広報プロジェクト ～学生地域定着支援推進事業～

江別市内の大学に通う学生の近隣地域における就職・定住を推進する同事業では、新たな取り組みとして「南幌工業団地広報プロジェクト」を行っています。今回、札幌学院大学の2年生9名が、町内の企業3社（日生バイオ㈱、トダテック㈱、㈱オムニ商会）を取材訪問しました。学生たちは、企業が持つ高い技術や優れた品質などを独自の視点で見付け出そうと積極的に質問し、工場内を見学・撮影しました。今後は、年内に広報記事を完成させ、町ホームページなどで紹介する予定です。



南幌産大豆「トヨムスメ」で木綿豆腐作り！ ～親子豆腐作り体験教室～

あいくるで親子3組8名が、豆腐作りを体験しました。講師に、町内の女性農家グループ「ゆきん娘」のメンバーである田中玲子さん（6区）と鈴木きみさん（13区）をお招きし、大豆から木綿豆腐になるまでの工程を指導していただきました。完成後は、作り立ての豆腐を使った味噌汁と、おからのふりかけをご飯にかけていただきました。参加した子どもたちからは、「大変だったけど、面白かった」、「家でも作ってみたい」などの声があがりました。



平成30年11月18日（日）

街頭募金を行いました ～南幌高等学校生徒会～

南幌高校の生徒会役員8名が南幌町共同募金委員会の協力のもと、ボランティア活動の一環として、エコープなんぽろ店入口前で赤い羽根共同募金の協力を呼び掛けました。生徒たちは、寒さが厳しい中、元気に声を出し、多くの方から心温まる募金をいただきました。



平成30年11月20日（火）

中央共同募金会会長表彰を受賞 ～南幌町共同募金委員会～



東京都港区メルパルクホールで開催された全国社会福祉大会で、「南幌町共同募金委員会」が優良地区・団体の部で中央共同募金会会長表彰を受賞しました。南幌町共同募金委員会は、永年にわたる共同募金運動の推進及び募金実績等による貢献が認められての受賞となりました。これまでの町民皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

「いのちの輝き」を学びました！ ～南幌小学校～

ひだまり助産院の佐藤助産師が、南幌小学校の6年生に「命の大切さ」を語りかけました。子どもたちは、心臓の音を聞いたり、徐々に成長していく胎児の人形を抱っこすることで、命の誕生や成長は奇跡であると感じ取りました。また、命は心の栄養ももらわないと成長できない、命を粗末にしてはいけないといったお話は、改めて自分や家族、友達の命の大切さについて考える機会となりました。



手作りの人形劇で楽しい1時間 ～人形げきのつどい～

南幌町読み聞かせサークルによる「人形げきのつどい」が、改善センターで開催されました。人形劇のほか、パネルシアターやエプロンシアターなど様々なプログラムが演じられ、来場者も馴染みある曲に手拍子で応えるなど、楽しいひと時となりました。



平成30年12月

冬の夜を彩るビューローイルミネーション ～南幌ライオンズクラブ～

今年、認証50周年を迎えた南幌町ライオンズクラブ(側瀬敏彦会長)から、奉仕の光をイルミネーションに託してほしいと、LEDイルミネーション一式が寄贈されました。ビューローの壁面に飾られたイルミネーションは、青と白の光で中央通りをキラキラと彩り、道行く人を楽しませてくれています。ぜひ一度ご覧ください。



日本舞踊の美しさを肌で感じました ～芸術鑑賞会～

芸術鑑賞会「日本舞踊『鼓舞志(こぶし)』南幌公演」(南幌町文化協会主催)が、改善センターで開催されました。長唄など6つの演目が披露されたほか、来場者参加型のコーナーでは、「さくらさくら」の音楽に合わせて扇子の手ほどきを受けました。最後はアンコールの「ソーラン節」で盛り上がり、1時間の公演に幕を降ろしました。



平成30年12月1日(土)

大接戦の末、激闘を制したのは！？ ～全町女性ミニバレーボール大会～

第19回全町女性ミニバレーボール大会が、スポーツセンターで6行政区53名参加のもと開催されました。どのチームも粘り強く試合に挑み、フルセットまでもつれる白熱した試合が多く見られました。その中で激闘をくぐり抜けた稲穂チーム、6区チーム、緑町チーム、東町チームがベスト4に進出し、僅差の末に、稲穂チームの優勝という形で幕を閉じました。

■大会結果 優勝：稲穂チーム 準優勝：東町チーム 3位：6区チーム、緑町チーム

■個人賞 最優秀選手賞：秋山由布子さん(稲穂チーム) 優秀選手賞：新貝真由美さん(東町チーム)



平成30年12月2日(日)

ご寄付ありがとうございました ～ディスコナイトin南幌2018実行委員会～



11月10日(土)に開催された「ディスコナイトin南幌2018」の実行委員の方々が来庁し、収益金を町の教育振興に役立ててほしいと、委員長の山下進一さんから大崎副町長に寄付金が手渡されました。いただいた寄付金は、有効に活用させていただきます。

美しい音色に聴き入りました ～南幌中学校～

楽団「アンサンブルポプリ」によるクラシックミニコンサートが、南幌中学校で開催されました。『魔王(シューベルト)』やクリスマスソングを演奏したほか、演奏を聴いて曲名を当てるゲームが行われるなど、大変盛り上がりしました。最後は生徒を代表し、瀬川夏生さん(2年)が感謝の言葉を述べ、終演しました。



面接形式での英会話に挑戦 ～南幌中学校～

南幌中学校2年生を対象に、日常生活で使用する英語を用いて英会話に挑戦する「イングリッシュトライアル」が開かれました。「道案内」「ファーストフード店」など、想定ごとに設けられた10ヵ所のブースでは、中学校教諭や地域の方々が面接官を務め、生徒たちは身振り手振りを交えながら英会話に挑戦しました。実施後、生徒たちは、「一生懸命伝えることができた。」「自分がこんなに英語を聞き取れるとは思わなかった。」などと振り返りました。

